（様式1）

学校番号	82	学校名	県立水海道第一高等学校

令和6年度道徳教育全体計画

諸法規

日本国憲法
教育基本法
教育諸法規
学習指導要領

校訓

至誠　剛健　快活

学校の教育目標

学校生活全体を通して、さまざまな視点から生徒の好き、得意、やりたい、なりたいを引き起こし、そこから生まれる主体的な学びを支援、正解のない未来に人生を主体的に切り拓ける人間形成に資する。

生徒の実態

・健全な家庭で成長した生徒であり素直かつ明朗で規範意識がしっかりと身に付いた生徒が多い。
・中学時代にクラスのリーダー的役割を担った生徒が多く、協調性がある。
・国立大学および難関私立大学を目指して入学する生徒が多く、文武両道を目指し学業・部活動・学校行事に励んでいる。
・思いやり・いたわりの心をもち、相手を尊重する気持ちが強い生徒が多い反面、意思決定力が弱く保護者や教師など周囲の大人に頼りがちである。

保護者の願い

・自己の興味・関心、適性を理解し、自己の在り方生き方を確立してほしい
・望ましい人間関係を築き、自他の生命を大切にする態度を養ってほしい

道徳教育重点目標

・自らの個性を確かめて自分の在り方生き方を自覚する
・本校の一員であることに誇りをもち、より良い校風を築いていこうとする態度を養う
・学校生活や家庭生活を考えることで他の人々の立場を尊重し、感謝と思いやりの心で接することができる。
・自主自立の精神を高め、責任ある行動がとれるようにする。
・勤労の尊さを重んじ、奉仕の精神をもって社会に寄与しようとする意欲を高める。
・各教科や特別活動、「総合的な探究の時間」と関連づけて世界の中の日本人としての自覚をもち、世界の平和と人類の福祉に貢献できるようにする。

地域の実態

地域の文化・経済の中心地としての役割を担ってきた。近年は田園都市つくりと工業開発や宅地開発に取組み、首都圏における生活拠点や住宅地供給の役割も担い、利便性が高く安心して暮らすことができる。

各教科・科目

国語	適切に表現したり、的確に理解する能力を高めるとともに思考力を伸ばし心情を豊かにする
地歴	現代社会を主体的に考察理解させることで、人間の在り方生き方の自覚を育て国家社会の公民としての資質を養う
数学	数学的な課題を公理や定義を元に考察し、その過程で見出した論理的思考力を育成する
理科	自然に対する関心や探究心を高め、観察、実験などを行い科学的に探究する能力と態度を養う
保体	多種なスポーツの実践を通して、協力し公正な行動をとろうとする態度を育てる。男女の性差を尊重し、自他の生命を守ろうとする態度を育てる
芸術	芸術の幅広い活動を通して豊かな情操を養う
外国語	異文化への理解を深め、情報や相手の意向等を理解する実践的ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ能力を養い、グローバル社会で活躍できる人材の育成に繋げる
家庭	家庭生活や家庭経営の学習を通して、男女共同参画社会を実現し子どもの人権を守ろうとする態度を養う
情報	個人情報の保護や著作権・肖像権について理解し遵守しようとする態度を育成する
総合的な探究の時間	総合的な探究の時間における海高式探究プログラムにおいて、年次や教育ベンチャー企業5社と連携することで生徒の深い学びへとつなげる。また、先進的なツールを活用しながら生徒の主体的な取り組みを促す。 常総市や本田技研、海高クリエーティブスクールにおける各講師など探究活動における外部との連携を強化し、キャリア教育の充実を図る。
専門	

特別活動

ホームルーム活動

・日々のHR活動を通し、望ましい人間関係を作り上げ、生徒一人の豊かな心の育成に向けての指導を行う。
・キャリアパスポートを積極的に活用し、キャリアプランニング能力を高める。
・生徒会活動を通し、生徒が自発的・自治的な活動を展開、体験した道徳的　行為や気付いた場面の課題を「道徳」に取り上げ、道徳的実践力を豊かにする。
・学校行事における体験的活動を通し、思いやりの心、奉仕の精神、公共の福祉、協力、責任、公徳心、勤労に関わる道徳性の育成を図る。

公民科

公共

・現代社会を主体的に考察理解させることで、人間の在り方生き方の自覚を育て国家社会の公民としての資質を養う。
・各大項目での内容に応じて、自由と責任、思いやり、相互理解、公正公平、公共精神、集団生活、合意形成、真理の探究など、道徳教育の内容項目を盛り込み、道徳心を育成する。

生徒指導

・生徒と教員の面談を充実させ、HRでの生徒理解を深める。
・挨拶の励行・服装指導等を通し、社会人として必要なマナーを身に付けさせる。
・メンタルヘルスに課題を抱えた生徒が増加傾向にある中、スクールカウンセラーや専門家との情報交換を密にした対応に努める。

家庭との連携

・学校ホームページ、年次通信・PTA会報などを通じ、本校の取組や行事等の様子を伝える。
・学校行事において保護者が参加しやすい環境を作り、生徒の学校生活を実際に見ていただくことで理解を深めていただく。

地域社会との連携

・学校ホームページを通し、本校への理解を深めていただき地域の学校として親しまれる関係づくりを進める。
・地域貢献を目指し、市内外のボラティア活動に積極的に取り組む。